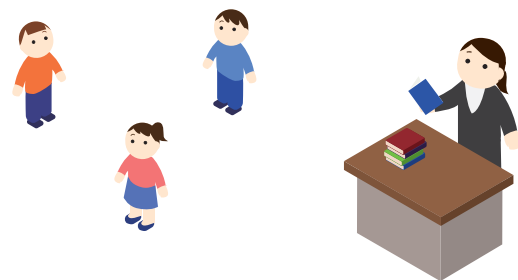


新任教員が感じた 教員の魅力



新教育長と小学校、中学校、高等学校、実習助手 それぞれの新任教員が、教員の魅力について語り合いました。

動画はこちらから → <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ky-teacher/r03pamphlet.html>



**宮城県教育委員会教育長
伊東 昭代**
京都大学法学部を卒業後、宮城県庁入庁。
企画部政策課長、教育庁教育次長、東京事務所長、
保健福祉部長、震災復興・企画部長、総務部長
を経て、今年度より初の女性教育長



佐々木 大樹
石巻市立渡波小学校
教諭
4年生担任



岩淵 花菜
南三陸町立歌津中学校
教諭
1年生副担任
バレーボール部顧問



佐藤 さつき
田尻さくら高等学校
教諭
2年次チューター
生徒指導部



加藤 理
加美農業高等学校
実習助手
農場部、陸上競技部顧問

教員の魅力、教員を目指したきっかけは？

佐々木：小学校から大学と色々な先生方と出会い、その先生方にすごくあこがれを抱き、こういう大人になりたいと思ったのがきっかけです。教員になってからは、子供たちと共に成長することができることにやりがいを感じています。

岩淵：初めて講師をしたとき、特別支援学級担任でした。入学式で生徒から「先生」と言われたときに、私は今日から先生になるんだと自覚と覚悟が生まれました。そこから正式採用を目指してがんばろうと思うようになりました。

教育長：子供たちと触れ合うということは、気持ちの上で、とても元気をもらいますね。

佐藤：学生時代に歴史が嫌いな友人が多く、どうして歴史の面白さがわからないのかなと思いました。もともと多くの人に歴史の奥深さや魅力を伝えていけたらいいなと感じていたため、それを実践したく、教員を志しました。

教育長：自分が好きなことを仕事にできるということは素晴らしいですね。

加藤：私の父が長年実習助手として働いていたので、子供のころから授業の様子や、学校の様子を聞いていました。そこで面白そうだなと感じたのがきっかけになっています。

教育長：皆さんいろいろな熱い思いをもって教員になられたんですね。

今まで、教員になってよかったと感じた教育活動は？

佐々木：学習発表会です。4年生担任として合唱の指揮をしました。私が一生懸命指揮をすると、子供たちも一生懸命歌ってくれました。発表が大成功し、みんなで感動できたことが一番心に残っています。

教育長：子供たちと心が通じ合えて一緒にがんばれたことや、成果を分かち合えるということは素晴らしいことですね。

佐藤：文化祭の実施に向けて、実行委員と計画を練り、運営していく場面がありました。いろいろ準備をしていく中で、生徒が頼りにしてくれる姿がとてもかわいく感じました。文化祭が大成功に終わったときに、実行委員の生徒たちと喜びを分かち合えたときは、とても感動しました。

教育長：私が教育次長のとき、子供のとてもけなげな姿を見て、未来を感じました。子供ががんばっているとか、一生懸命何かしていると救われる部分があります。教員というのはその部分に大きく関わります。大変な部分もあるでしょうけど、とてもやりがいのある職業だと思います。

授業で工夫していることは？

佐藤：「これはなんでなんだろう。」という知的好奇心を生徒たちに身に付けさせるために、資料の読み取りを、個人やペアワーク、グループワークで考えたり、意見交換をしたりする活動をしています。そういった活動の助けとなっているのが、本校にも最近設置された電子黒板やタブレットです。教科書や資料集だけでなく、映像資料も簡単に生徒に提供することができます。ICT機器を効果的に活用することによって生徒たちの力をもっと伸ばしていけたらと考えています。

教育長：宮城県もいま情報化ということで、いろんな機器が入り、教え方も変わってきています。世界史はカタカナをみているだけでは理解しにくいので、映像を用いるのは大切なことではないでしょうか。自分の好きな世界史のことを生徒も好きになってくれるような授業ができるといいですね。

加藤：半年前まで働いていた民間での経験を生かしたいと常に思っています。現場で培ってきた安全意識を、実習を通して教えていければと思います。就職した後に、安全の意識が足りなかったとか、就職先の職場のほうで5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)が徹底されているというようなギャップがないように、高校生活の中から安全や5Sの意識を身に付けられるようにしていきたいです。

教育長：民間で働いていた経験が実感として生徒に伝わるといいですね。

息抜きや気分転換の仕方は？

岩淵：ご飯をしっかり食べること。同じ職場の先生方とたくさんお話をすることです。

教育長：おしゃべりをするので気分転換しているのです。

加藤：趣味の一つがスノーボードです。以前は仙南に住んでいましたが、現在は県北に住んでいます。山が近く雪が多いので、これから雪が降るのを楽しみにしています。

教育長：体調や、気持ちを上手く整えながらやっていくということは大切ですね。自分にとってもそうですが、子供たちにとってもすごく良い影響になります。ぜひ、気分転換もしながらがんばってもらいたいです。

苦勞したことや、困ったことは？

岩淵：周りの友達と話すことが苦手な生徒がいます。その生徒にどのように働きかけたらいいのか、毎日悩んでいます。担任の先生と相談して、隣の席の生徒にノートを見せてもらうなどサポートを得られるように、工夫をしています。先日、初めて書写の作品を提出することができました。子供の成長が少しずつ見え、こちらの思いが少しずつでも伝わってくると、またがんばっていかうという気持ちになります。

教育長：生徒には一人一人個性があります。全ての生徒に同じように指導すれば上手くいくということではありません。実情に合わせて、先生方一人一人はもちろんのこと、学校全体や教育委員会が、どうしたら子供たちが元気に学校に通ったり、自分たちの居場所を見つけて勉強したりすることができるかを一緒に考えていかなければいけません。抱え込まず、みんなで考えていきましょう。

新任教員へのメッセージ

教育長：皆さんのように教員を志して、教員になり、やりがいを感じながら、大変なことがあってもそれを乗り越えようとチャレンジしているということで、私も心強く感じました。今後も、震災からの復興、少子化など課題はたくさんあります。教員は、未来の社会を担っていく人たちを育てていくという本当に大事な仕事です。そういったことに皆さんと一緒に関われるということは、私も嬉しく思います。これから教員を目指してがんばる人たちに對して本当にいいエールになったと思います。今日はありがとうございました。これからもよろしくお祈いします。

